



# 農村地域人口と農業集落の将来予測

－ 西暦2045年における農村構造－



令和元年8月  
農林水産政策研究所

# 1. 農村地域の人口推移と将来予測

- 人口減少の進行は、農業地域類型間で大きな差。人口減少に転じた時期が早い山間農業地域では、1970年以降一貫した減少。今後も更に人口減少が進むと見込まれる。
- 2015～45年の30年間で、山間農業地域の人口は半減し、過半が65歳以上の高齢者になると見込まれる。平地農業地域でも人口が3割以上減少し、高齢化率が40%を超える。

(指数：2015年＝100)

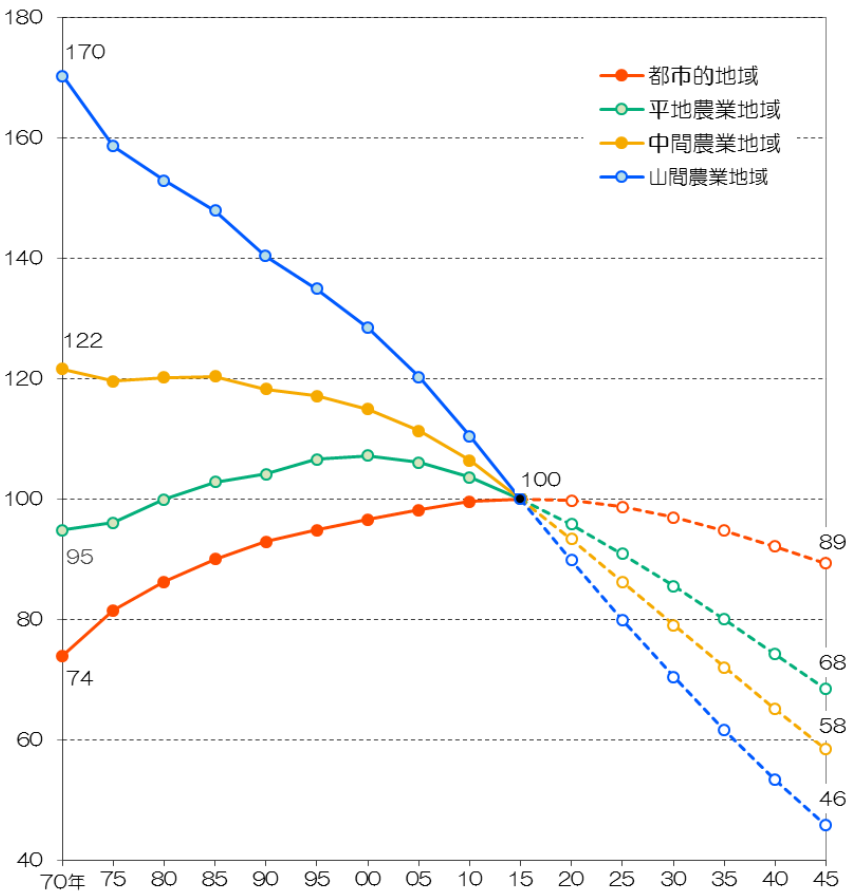


図1 農業地域類型別の人口推移と将来予測

表1 農業地域類型別の人口推計結果

|                          |        | 2015年  | 2020年  | 2025年  | 2030年  | 2035年  | 2040年  | 2045年  |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実数<br>(万人)               | 全 国    | 12,709 | 12,532 | 12,254 | 11,913 | 11,522 | 11,092 | 10,642 |
|                          | 都市的地域  | 10,263 | 10,237 | 10,122 | 9,945  | 9,718  | 9,451  | 9,160  |
|                          | 平地農業地域 | 970    | 929    | 881    | 829    | 776    | 720    | 663    |
|                          | 中間農業地域 | 1,133  | 1,057  | 977    | 896    | 816    | 737    | 662    |
|                          | 山間農業地域 | 344    | 309    | 275    | 242    | 212    | 183    | 157    |
| 指 数<br>(2015年<br>=100.0) | 全 国    | 100.0  | 98.6   | 96.4   | 93.7   | 90.7   | 87.3   | 83.7   |
|                          | 都市的地域  | 100.0  | 99.8   | 98.6   | 96.9   | 94.7   | 92.1   | 89.3   |
|                          | 平地農業地域 | 100.0  | 95.8   | 90.9   | 85.5   | 80.0   | 74.2   | 68.4   |
|                          | 中間農業地域 | 100.0  | 93.3   | 86.2   | 79.1   | 72.0   | 65.1   | 58.4   |
|                          | 山間農業地域 | 100.0  | 89.8   | 79.9   | 70.4   | 61.6   | 53.3   | 45.8   |
| 増 減 率<br>(%)             | 全 国    |        | ▲ 1.4  | ▲ 2.2  | ▲ 2.8  | ▲ 3.3  | ▲ 3.7  | ▲ 4.1  |
|                          | 都市的地域  |        | ▲ 0.2  | ▲ 1.1  | ▲ 1.7  | ▲ 2.3  | ▲ 2.7  | ▲ 3.1  |
|                          | 平地農業地域 |        | ▲ 4.2  | ▲ 5.1  | ▲ 5.8  | ▲ 6.5  | ▲ 7.2  | ▲ 7.8  |
|                          | 中間農業地域 |        | ▲ 6.7  | ▲ 7.6  | ▲ 8.3  | ▲ 8.9  | ▲ 9.6  | ▲ 10.3 |
|                          | 山間農業地域 |        | ▲ 10.2 | ▲ 11.1 | ▲ 11.8 | ▲ 12.6 | ▲ 13.4 | ▲ 14.1 |
| 65歳以上<br>人口比率<br>(%)     | 全 国    | 26.6   | 28.9   | 30.0   | 31.2   | 32.8   | 35.3   | 36.8   |
|                          | 都市的地域  | 25.2   | 27.3   | 28.2   | 29.4   | 31.2   | 33.8   | 35.3   |
|                          | 平地農業地域 | 29.4   | 33.0   | 35.4   | 37.1   | 38.7   | 41.2   | 43.3   |
|                          | 中間農業地域 | 33.2   | 36.8   | 39.2   | 41.0   | 42.5   | 45.0   | 46.9   |
|                          | 山間農業地域 | 38.5   | 42.5   | 45.4   | 47.5   | 49.2   | 51.7   | 53.7   |

注1) 国勢調査の組替集計による。なお、2020年以降(点線部分)はコーホート分析による推計値による。  
2) 農業地域類型は2000年時点の市町村を基準とし、2007年4月のコードを用いて集計した。

注1) 国勢調査の組替集計による。なお、2020年以降(点線部分)はコーホート分析による推計値である。  
2) 農業地域類型は2000年時点の市町村を基準とし、2007年4月改定のコードを用いて集計した。

## 2. 農業集落の平均像とその変化

- 全国平均でみた農業集落の姿（現況の集落構造）は、世帯数50戸，うち農家数11戸，人口174人，高齢化率35%，耕地面積（属地）17ha。
- 中山間地域の集落は規模が小さく，高齢化も進んでおり，特に，山間農業地域での世帯数及び人口の減少，高齢化の進行が顕著。
- 集落内の農家数減少は著しく，平地農業地域を除き販売農家数は一桁（山間農業地域では，1集落当たりわずか4戸）

表2 中央値（Median）でみる各地域の平均的な農業集落像の変化

|               | 1集落当たりの世帯数<br>(戸) |             | 総農家数<br>(戸) |            | 販売農家数<br>(戸) |          | 1集落当たりの総人口<br>(人) |              | 高齢化率<br>(%)    |                | 1集落当たりの耕地面積<br>[属地面積]<br>(ha) |            | 田面積<br>(ha) |            |
|---------------|-------------------|-------------|-------------|------------|--------------|----------|-------------------|--------------|----------------|----------------|-------------------------------|------------|-------------|------------|
|               | 2010年             | 2015年       | 2010年       | 2015年      | 2010年        | 2015年    | 2010年             | 2015年        | 2010年          | 2015年          | 2010年                         | 2015年      | 2010年       | 2015年      |
| 全 国<br>(算術平均) | 51<br>(198)       | 50<br>(201) | 14<br>(18)  | 11<br>(15) | 9<br>(12)    | 6<br>(9) | 188<br>(863)      | 174<br>(856) | 30.3<br>(32.1) | 34.8<br>(36.6) | 18<br>(35)                    | 17<br>(33) | 12<br>(21)  | 11<br>(20) |
| 都市的地域         | 210               | 220         | 14          | 12         | 8            | 6        | 938               | 934          | 23.6           | 27.9           | 14                            | 13         | 10          | 9          |
| 平地農業地域        | 56                | 57          | 17          | 15         | 13           | 10       | 204               | 190          | 28.4           | 32.7           | 34                            | 34         | 23          | 23         |
| 中間農業地域        | 39                | 38          | 13          | 11         | 9            | 6        | 126               | 113          | 33.6           | 38.2           | 16                            | 15         | 11          | 10         |
| 山間農業地域        | 26                | 24          | 10          | 8          | 6            | 4        | 72                | 62           | 39.9           | 44.6           | 10                            | 9          | 7           | 7          |
| 北 海 道         | 17                | 16          | 5           | 5          | 5            | 4        | 61                | 54           | 33.3           | 38.2           | 106                           | 106        | 50          | 49         |
| 都 府 県         | 53                | 52          | 14          | 12         | 9            | 7        | 196               | 182          | 30.2           | 34.7           | 17                            | 16         | 12          | 11         |

資料：農林業センサス農山村地域調査（2010年，2015年），地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。

注 1) 全国の下段に（ ）内で示した数値は，算術平均値である。

2) 集落の人口及び高齢化率は，国勢調査の人口データを農業集落別に推計したものである。

### 3. 農業集落の変容と集落の活動状況

- この5年間に4割強の集落で世帯数が減少（中山間地域では約半数→「空き家」の増加）。集落人口でみると、8割以上の集落が人口減少。全地域で人口減少率が高まる傾向。
- 2015年の集落調査結果をみると、人口規模の小さな集落、高齢化率の高い集落ほど集落活動が停滞する傾向にある。特に、「人口が9人以下」の集落で活動が著しく低下。

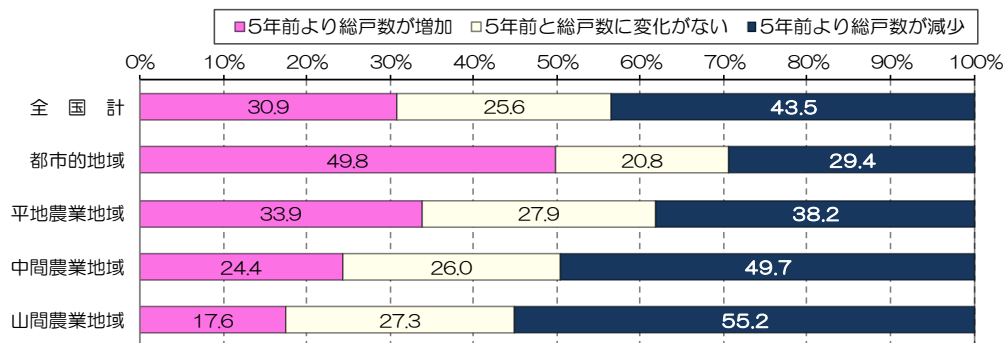


図2-1 農業地域類型別に見た総戸数増減別農業集落数割合（全国：2010-15年）

資料：農林業センサス農山村地域調査（2010年、2015年）

注：2010-15年間に分割・合併等を行っていない129,997継続集落のみを対象。

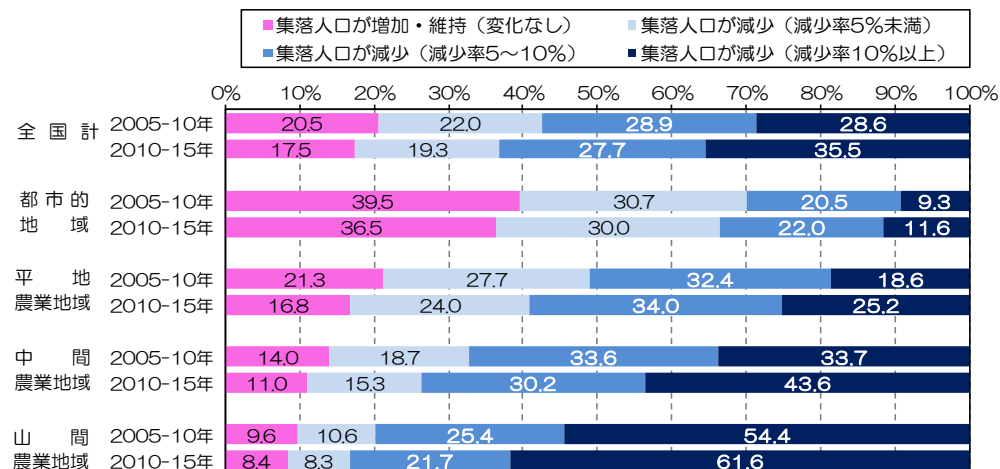
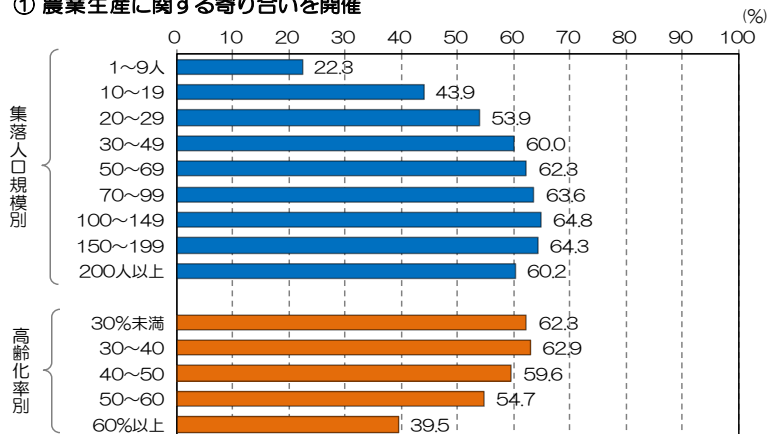


図2-2 5年間の人口増減別農業集落数割合の推移（全国）

資料：地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）

注：国勢調査の人口データを農業集落別に集計した推計人口に基づく。

#### ① 農業生産に関する寄り合いを開催



#### ② 農業用排水路を集落で保全・管理

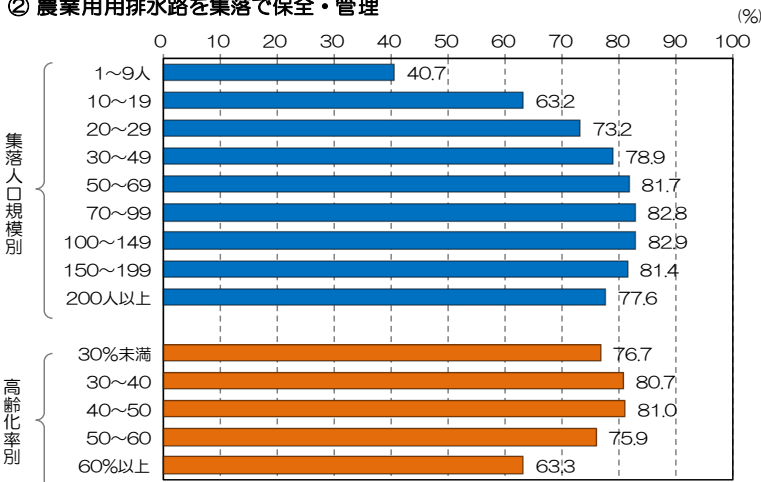


図3 人口規模・高齢化率別にみた集落の活動状況（2015年）

資料：農林業センサス農山村地域調査（2015年）、地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。  
注：集落人口及び高齢化率は、国勢調査の人口データを農業集落別に推計した値に基づく。

## 4. 集落の人口規模、年齢構成の予測

- 集落ごとのコーホート分析により30年後（2045年）の集落人口を推計すると、集落の縮小が進行し「人口9人以下」の集落が全体の9%を占める（山間農業地域では25%）。
- 集落の縮小（小規模化）と並行して世帯員の高齢化も加速。集落人口の過半が65歳以上となる集落（「高齢化率50%以上」の集落）が山間農業地域で65%，中間農業地域でも57%を占める。

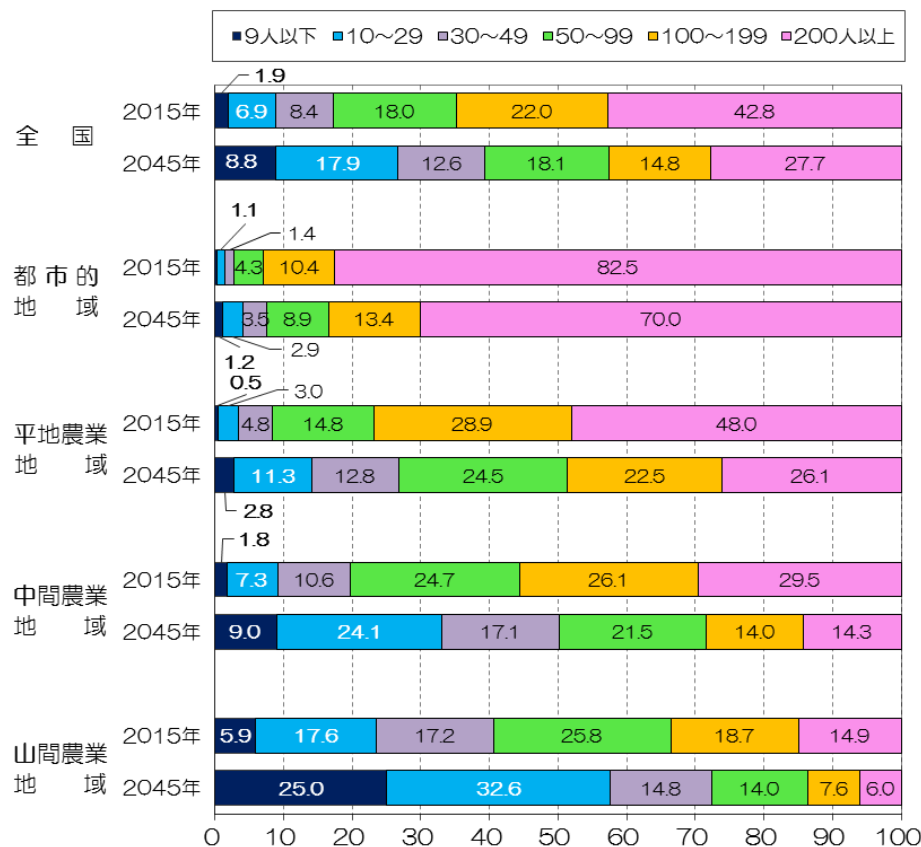


図4 集落人口規模別の集落数構成

(%)

資料：地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。  
注：2045年の割合は、集落ごとに行ったコーホート分析による推計人口に基づく。  
なお、「9人以下」には、無人化した集落（集落人口0の集落）を含む。

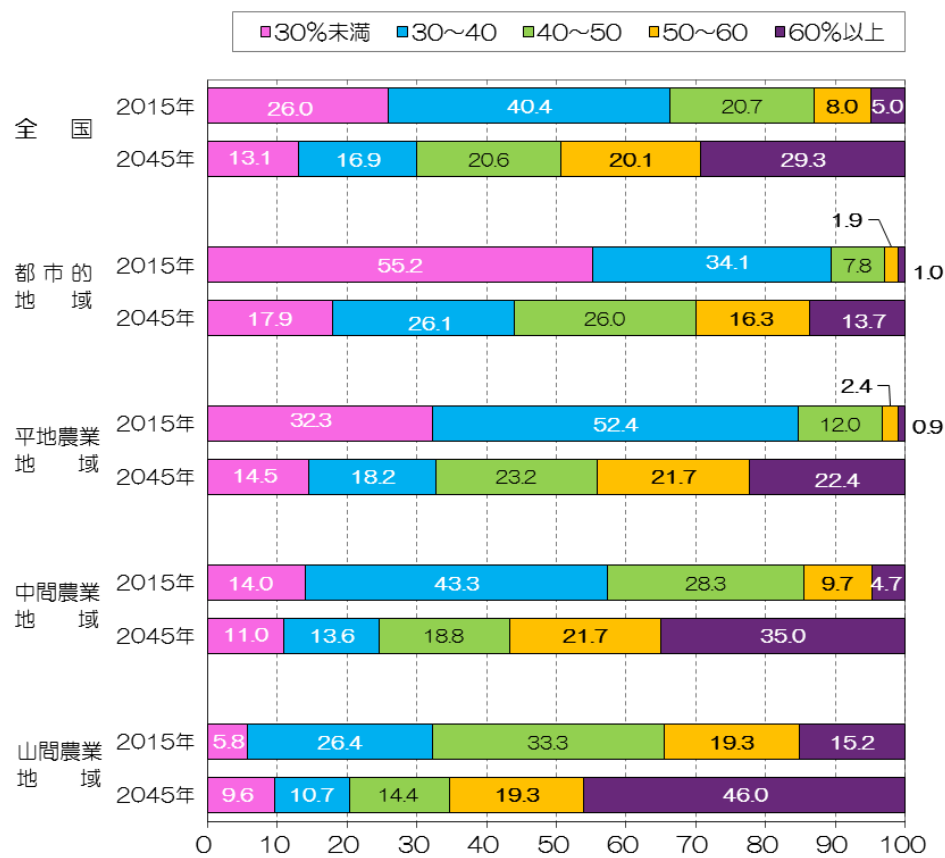


図5 高齢化率別の集落数構成

(%)

資料：地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。  
注：2045年の割合は、集落ごとに行ったコーホート分析によって推計した年齢別の集落人口に基づく。  
なお、2015年、2045年ともに、有人集落を母数とした集落割合である。

## 5. 「存続危惧集落」数等の推計結果

- 約14万の農業集落のうち集落の存続が危惧される、集落人口が9人以下でかつ高齢化率が50%以上の集落（「存続危惧集落」）が、2015年の2千集落から30年後（2045年）には1万集落へと4倍以上に増加。これら集落の9割が中山間地域に所在する集落。
- 今後30年間で、現在の集落人口が3分の1未満になる集落が3万集落を超える（全集落の23%）。
- 有人集落のうち、集落人口の3分の2以上が65歳以上となる超高齢化集落が、4千集落から2万7千集落に増加。他方、14歳以下の子供がいない集落も9千集落から3万集落に増加。

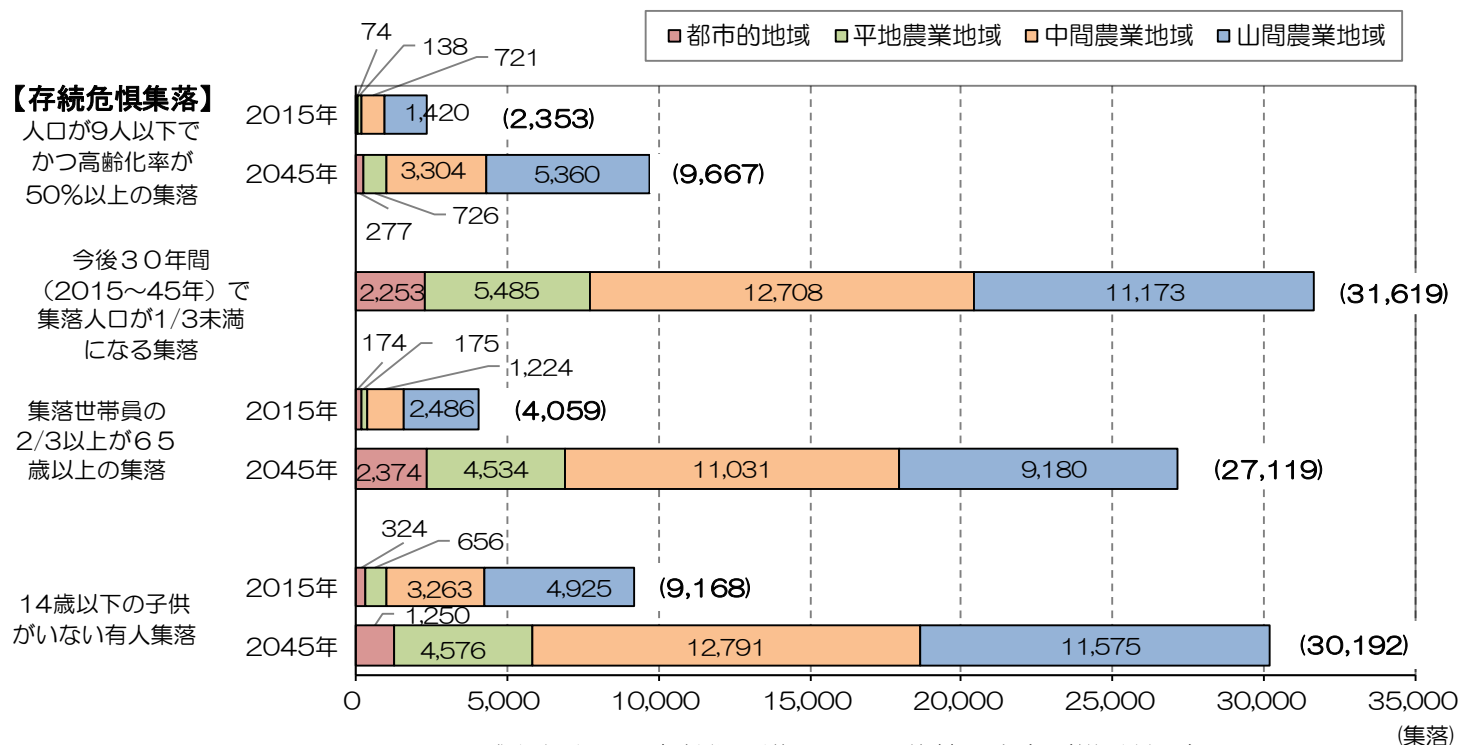


図6 人口減少と少子・高齢化の進行による集落の変容（推計結果）

資料：地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。

注：集落ごとに行ったコーホート分析によって推計した年齢別の集落人口に基づく。

## 6. 都道府県別の「存続危惧集落」数の予測

- 「存続危惧集落（集落人口が9人以下で、かつ高齢化率が50%以上）」の占める割合が、30年後（2045年）に10%を超えると見込まれる都道府県は、北海道、石川と和歌山、島根、山口、徳島、愛媛、高知、大分の西日本の各県。

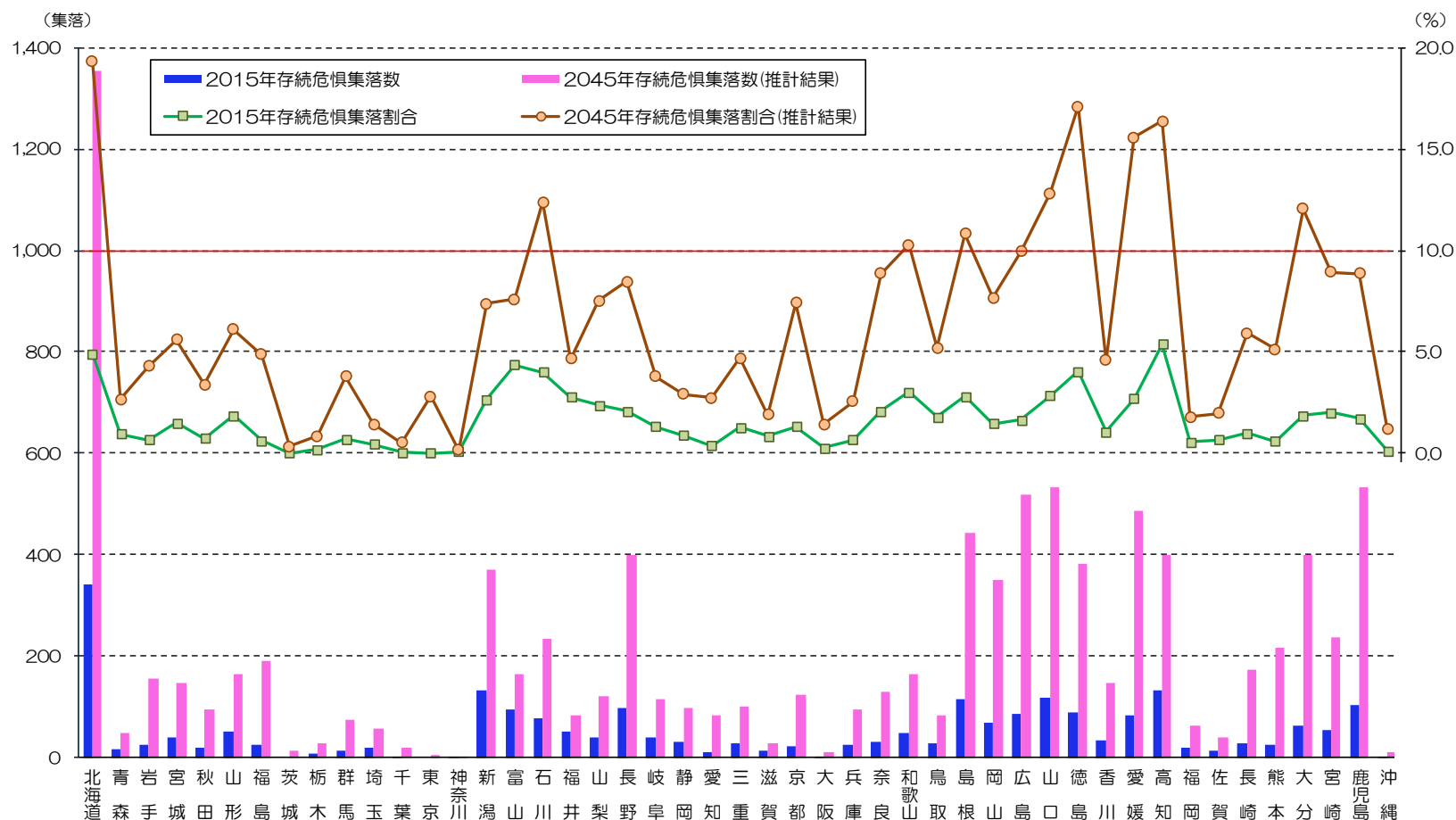


図7 都道府県別の「存続危惧集落（人口9人以下&高齢化率50%以上）」数及び同割合

資料：地域の農業を見て・知って・活かすDB（2015年）。

注. 2050年の割合は、集落ごとに行ったコーホート分析によって推計した年齢別の集落人口に基づく。なお、「存続危惧集落」には人口がゼロの集落を含む。